

eye movement control in the cat. Brain Res. **290** : 25—31, 1984.

2) Sato, Y., Yamamoto, F., Shojaku, H. and Kawasaki, T. : Neuronal pathway from floccular caudal zone contributing to vertical eye movements in cats-role of group y nucleus of vestibular nuclei. Brain Res. **294** : 375 — 380, 1984.

3) 川崎 匡, 佐藤 悠: 視運動眼振における小脳片葉の役割について. 平衡神経科学 **43** : 6 — 11, 1984.

4) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: 眼球運動に関連したネコ小脳片葉の機能的局在. 平衡神経科学 **43** : 1 — 5, 1984.

◆ 学会報告

1) 加藤 功, 原田浩二, 中村 正, 長谷川智彦, 五十嵐敬郎, 川崎 匡: 視性眼運動に対するサル視神経束核の役割. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

2) 佐藤 悠, 山本文昭, 将積日出夫, 川崎 匡: 垂直眼球運動に関係するネコ小脳片葉の出力神経路について. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 前橋.

3) 梅野克身: 腓腹筋の複数神経支配期及びその除去期の形態学的観察. 第16回日本生理学会大会, 1984, 3, 前橋.

4) 山本文昭, 川崎 匡: 小脳片葉出力系に対する沢瀉湯および柴胡桂湯の影響について. 第1回和漢医薬学会, 1984, 9, 富山.

5) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: ネコ前庭核 group Y から動眼神経核への投射について. 第43回日本平衡神経科学総会, 1984, 9, 富山.

6) 佐藤 悠, Barmack, N. H. : ウサギ小脳虫部第IX葉への登上線維の帯状投射. 第43回日本平衡神経科学総会, 1984, 9, 富山.

7) 加藤 功, 長谷川智彦, 原田浩二, 五十嵐敬郎, 中村 正, 川崎 匡: 視性眼運動に対するサル視神経束核の役割. 第43回日本平衡神経科学総会, 1984, 9, 富山.

8) 佐藤 悠: 下オリブ核から小脳虫部第IX葉マイクロゾーンへの登上線維投射. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

◆ その他

1) 川崎 匡: 小脳片葉出力系に対する沢瀉湯および柴胡桂枝湯の影響について. 昭和58年度受託研究 和漢薬の臨床的効果と資源開発的研究 研究成

果報告書, 能谷 朗編, 24—25, 1984.

生 理 学 (2)

教 授 小 野 武 年
助 教 授 西 野 仁 雄
助 手 佐々木 和 男
助 手 福 田 正 治
文部技官 松 山 晴 子
文部事務官 畑 山 暁 美

◆ 著 書

1) 小野武年: 摂食の調節と肥満. 「新医科学大系 6 B 体内環境と調節機構II」山村雄一, 吉利 和編, 283—317, 中山書店, 1984.

2) 小野武年: 食欲. 「新生理学読本 からだの科学」増刊2, 星 猛編, 139—146, 日本評論社, 1984.

3) 大村 裕, 小野武年: 動機づけ行動. 「脳の構造と機能」下巻, 大村 裕, 島津 浩, 伊藤正男編, 569—588, 医学書院, 1984.

4) 大村 裕, 西野仁雄: 神経相関 1. リズム. 「脳の構造と機能」下巻, 大村 裕, 島津 浩, 伊藤正男編, 627—643, 医学書院, 1984.

◆ 原 著

1) Fukuda, M., Ono, T., Nishino, H. and Sasaki, K. : Independent glucose effects on rat hypothalamic neurons: an in vitro study. J. Autonom. Nerv. Syst. **10** : 373—381, 1984.

2) Ono, T., Nishino, H., Fukuda, M., Sasaki, K. and Nishijo, H. : Single neuron activity in dorsolateral prefrontal cortex of monkey during operant behavior sustained by food reward. Brain Res. **311** : 323—332, 1984.

3) Nishino, H., Ono, T., Sasaki, K., Fukuda, M. and Muramoto, K. : Caudate unit activity during operant feeding behavior in monkeys and modulation by cooling prefrontal cortex. Behav. Brain Res. **11** : 21—33, 1984.

4) Sasaki, K., Ono, T., Muramoto, K., Nishino, H. and Fukuda, M. : The effects of feeding and rewarding brain stimulation on lateral hypothalamic unit activity in freely moving rats. Brain Res. **322** : 201—212, 1984.

5) Ono, T., Nishino, H., Fukuda, M. and Sasaki, K. : Monkey amygdala, lateral hypothalamus and prefrontal cortex roles in food

discrimination, motivation to bar press, and ingestion reward. In : Neurol. Neurobiol., by Bandler, R. (Ed.), 12 : 251—268, 1984.

6) Nishino, H., Ono, T., Muramoto, K., Fukuda, M. and Sasaki, K. : Caudate, pallidal and nigral unit activity during sensory integration and motor execution in bar press feeding behavior of monkey. In : Neurol. Neurobiol., by Bandler, R. (Ed.), 12 : 151—164, 1984.

7) Aou, S., Oomura, Y., Lenard, L., Nishino, H., Inoue, A., Minami, T. and Misaki, H. : Behavioral significance of monkey hypothalamic glucose-sensitive neurons. Brain Res. 302 : 69—74, 1984.

8) Nakano, Y., Oomura, Y., Nishino, H., Aou, S., Yamamoto, T. and Nemoto, S. : Neuronal activity in the medial orbitofrontal cortex of the behaving monkey : modulation by glucose and satiety. Brain Res. Bull. 12 : 381—385, 1984.

9) Yamamoto, T., Oomura, Y., Nishino, H., Aou, S., Nakano, Y. and Nemoto, S. : Monkey orbitofrontal neuron activity during emotional and feeding behaviors. Brain Res. Bull. 12 : 441—443, 1984.

10) 村本健一郎, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 西条寿夫, 中村清実 : マルチプルユニット弁別処理装置. 電子通信学会誌 MBE84—8, 17—20, 1984.

11) 村本健一郎, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 山谷和正, 中村清実 : 生体信号解析用対話型作図編集システム. 電子通信学会誌 MBE84—10, 27—34, 1984.

12) 中村清実, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 柴田良子, 村本健一郎 : コンピュータによる弁別学習行動制御とニューロン応答様式の解析. 電気通信学会誌 MBE84—9, 21—26, 1984.

13) 小野武年, 福田正治, 西野仁雄, 佐々木和男 : ラット視床下部ニューロンのブドウ糖応答性とその形態および分布. 肥満 4 : 110—112, 1984.

◆ 総 説

1) 西野仁雄, 小野武年 : 動機づけ行動と神経生理学的制御. 代謝 21 : 107—118, 1984.

◆ 学会報告

1) Ono, T. : Contribution of monkey lateral hypothalamus, amygdala, prefrontal cortex, and basal ganglia to bar press motivation and inges-

tion reward. Invited Lecture at Bulgarian Medical Academy, 1984, 6, Sofia.

2) Ono, T., Nishino, H., Fukuda, M. : Single neuron activity studies of the lateral hypothalamus, amygdala, and prefrontal cortex in monkey operant feeding behavior (Invited Lecture). USSR-USA Int. Pavlovian Conf. : Emotions and Behavior : A Systems Approach, 1984, 6, Moscow.

3) Ono, T. : Neuronal mechanisms related to operant feeding behavior. Invited Lecture at Georgian Academy of Sciences, 1984, 7, Tbilisi.

4) Ono, T., Nishino, H., Fukuda, M., Nishijo, H., and Yamatani, K. : Amygdala unit activity during discrimination of various objects and feeding behavior in monkey. 14th Annual Meeting Society for Neuroscience, 1984, 10, Anaheim.

5) Nishino, H., Ono, T., Fukuda, M. and Nishijo, H. : Unit activity variation in monkey ventral tegmental area during operant feeding. 14th Annual Meeting Society for Neuroscience, 1984, 10, Anaheim.

6) Ono, T., Nishino, H., Fukuda, M. and Nishijo, H. : Functional analysis of monkey lateral hypothalamus, amygdala, prefrontal cortex, and basal ganglia involvement in motivation of feeding behavior. 14th Neurosci. Symp. : The Neural and Metabolic Basis of Feeding, 1984, 10, San Francisco.

7) Nishino, H., Ono, T., Fukuda, M. and Muramoto, K. : The ventral tegmental area and motivated feeding behavior in monkey. 14th Neurosci. Satel. Symp. : The Neural and Metabolic Basis of Feeding, 1984, 10, San Francisco.

8) Aou, S., Woody, C. D., Oomura, Y. and Nishino, H. : Effects of reward-related hypothalamic stimulation on neuron activity of the motor cortex in monkey. 14th Annual Meeting Society for Neuroscience, 1984, 10, Anaheim.

9) Oomura, Y., Nakano, Y., Lenard, L., Yamamoto, T. and Nishino, H. : Distribution of neurons sensitive to neurochemicals and its functional involvement in the monkey amygdala. 14th Annual Meeting Society for Neuroscience, 1984, 10, Anaheim.

10) 小野武年, 西条寿夫, 西野仁雄, 福田正治,

佐々木和男, 山谷和正: サル扁桃体ニューロン活動と視覚情報処理. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

11) 中村清実, 小野武年, 佐々木和男, 西野仁雄, 福田正治, 柴田良子: ラット視床下部外側野の報酬予告音ニューロンの特性. 第7回神経科学学術集会, 1984, 千葉.

12) 西野仁雄, 小野武年, 村本健一郎, 佐々木和男, 福田正治, 高橋二郎: サルのレバー押し摂食行動と腹側被蓋野(VTA)ニューロン活動. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

13) 福田正治, 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 西条寿夫: 摂食および飲水行動下サル視床下部外側野ニューロンの応答様式. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

14) 栗生修司, Woody, C. D., 大村 裕, 西野仁雄, Lenard, L.: 無麻酔サル運動野ニューロンの視床下部刺激に対する応答性. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

15) 堀 哲郎, 清原壽一, 大村 裕, 西野仁雄, 栗生修司: サルの体温調節行動および摂食行動時の前頭眼窩野ニューロン活動. 第7回神経科学学術集会, 1984, 千葉.

16) 山本智矢, 大村 裕, 西野仁雄, 栗生修司, 中野保彦: レバー押し摂食課題の開始要因とサル前頭眼窩野ニューロン活動. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

17) 古賀知行, 石川友衛, 宮澤多恵子, 栗生修司, 大村 裕, 西野仁雄: 摂食および回避条件行動下でのサル前頭眼窩野ニューロンの識別関連応答. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

18) 小野武年, 中村清実, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治: ラット視床下部外側野の食物および脳内自己刺激報酬応答ニューロンの特性. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

19) 西野仁雄, 小野武年, 佐々木和男, 福田正治, 村本健一郎, 高橋二郎: サルレバー押し摂食行動における前腹側淡蒼球(VGP)の意義. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

20) 福田正治, 小野武年, 遠山正弥, 稲垣 忍, 高木 宏, 山野真利子: 視床下部ニューロンのブドウ糖応答性と形態. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

21) 村本健一郎, 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治: サルレバー押し摂食行動下の前頭前野(FC)各部位ニューロンの応答性. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

22) 柴田良子, 佐々木和男, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治: 摂食および飲水行動に対する視床下部ニューロン応答性. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

23) 西条寿夫, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 山谷和正, 佐々木和男: サル扁桃体ニューロン活動と複合感覚応答. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

24) 大村 裕, 西野仁雄, 栗生修司, Lenard, L.: サル視床下部オペート感受性ニューロンの摂食行動時の役割. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

25) 中野保彦, 大村 裕, 栗生修司, 西野仁雄, 山本智矢, Lenard, L.: サル扁桃体ニューロンの薬物感受性とその摂食行動における意義. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

26) 山本智矢, 大村 裕, 西野仁雄, 栗生修司, 中野保彦: 自発的発声に始まる摂食課題とサル前頭眼窩野ニューロン活動. 第61回日本生理学会大会, 1984, 3, 群馬.

27) 西条寿夫, 山谷和正, 福田正治, 西野仁雄, 小野武年: サル扁桃体ニューロン活動と感覚情報処理. 第31回生理学中部談話会, 1984, 10, 山梨.

28) 柴田良子, 村本健一郎, 佐々木和男, 西野仁雄, 小野武年: ラット視床下部腹内側核ニューロンの摂食行動に対する応答性と日内リズム活動性. 第31回生理学中部談話会, 1984, 10, 山梨.

29) 高橋二郎, 西野仁雄, 小野武年: サル運動野破壊後の上肢運動機能障害に対する S-adenosyl-L-methionine (SAMe) の作用. 第31回生理学中部談話会, 1984, 10, 山梨.

30) 中村清実, 小野武年: ラット視床下部ニューロンの報酬および嫌悪刺激に対する応答性. 第31回生理学中部談話会, 1984, 10, 山梨.

31) 山谷和正, 西条寿夫, 福田正治, 西野仁雄, 小野武年: サル前頭前野ニューロン活動と学習行動. 第31回生理学中部談話会, 1984, 10, 山梨.

32) 西野仁雄, 高橋二郎, 森口幸栄, 福田正治, 小野武年: サル前頭前野損傷後の遅延反応障害に対する S-adenosyl-L-methionine の作用. 第65回日本薬理学会近畿部会, 1984, 6, 金沢.

33) 高橋二郎, 松谷芳英, 福田正治, 西野仁雄, 小野武年: サル運動野損傷後の上肢運動機能障害に対する S-adenosyl-L-methionine の作用. 第65回日本薬理学会近畿部会, 1984, 6, 金沢.

34) 小野武年, 山谷和正, 西野仁雄, 福田正治, 西条寿夫: サル前頭前野ニューロンの刺激内容応答性.

第8回神経科学学術集会, 1984, 大阪.

35) 村本健一郎, 小野武年, 柴田良子, 中村清実: ラット扁桃体および側坐核の脳内自己刺激報酬応答ニューロンの特性. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

36) 西野仁雄, 小野武年, 高橋二郎: 黒質線条体ドーパミン路破壊ラットの回転運動に対する胎児脳ドーパミン細胞の移植の効果. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

37) 福田正治, 小野武年, 西野仁雄, 村本健一郎, 西条寿夫: サル視床下部外側野ニューロンの視覚性学習応答. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

38) 小野武年, 村本健一郎: マルチ電極によるデータ収集ならびに処理. 第8回神経科学学術集会テクニカルセッション, 1984, 11, 大阪.

39) 堀 哲郎, 清原壽一, 大村 裕, 西野仁雄, 栗生修司: サル視束前野ニューロンの体温調節行動時の活動. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

40) 山本智矢, 大村 裕, 西野仁雄, 栗生修司, 中野保彦, 小山純正, 藤田一郎: 自発的発声に始まる摂食課題時のサル前頭眼窩野および視床下部外側野ニューロン活動. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

41) 中野保彦, 大村 裕, 西野仁雄, 山村智矢, Lenard, L.: サル扁桃体ニューロンのカテコールアミン感受性およびその摂食行動における意義. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

42) 小野武年, 柴田良子: ラット視床下部ニューロンの体液性応答. 第12回自律神経研究会, 1984, 10, 東京.

43) 小野武年, 柴田良子, 佐々木和男, 村本健一郎, 福田正治: 視床下部腹内側核ニューロンの摂食応答性と日周リズム活動性. 第5回日本肥満学会, 1984, 12, 大阪.

44) 村本健一郎, 椎名久之, 小野武年, 中村清実, 増山敏之, 辻本恵一: 画像処理による脳地図データベースの作成. 電気四学会北陸支部連合大会, B-17, 1984, 10, 富山.

45) 村本健一郎, 桧山裕和, 椎名久之, 小野武年, 増山敏之, 辻本恵一: 画像処理による二種類の染色方法の脳組織標本から脳地図の作成. 電気四学会北陸支部連合大会, B-16, 10, 富山.

◆ その他

1) 小野武年, 福田正治: 側頭葉と情動. Clin. Neurosci. 2 : 558, 1984.

2) 小野武年: ソ連—米国国際バプロフ会議「情動と行動: システムアプローチ」. 学術月報 37 : 490, 1984.

3) 小野武年: ソ連—米国国際バプロフ会議印象記. 生体の科学 35 : 390—393, 1984.

4) 小野武年: ある脳研究者の少年時代, とやまの生涯学習 31, 1984.

生 化 学 (1)

教 授	岡 本	宏
助 教 授	野 瀬	清
助 手	伊 藤	信 行
助 手	山 本	博
文部技官	恒 田	則 子

◆ 著 書

1) Okamoto H., Yanaihara N., Hayakawa Y., Itoh N., Obata K. -I. : Biosynthesis and processing of human VIP/PHM-27 precursor, In Endocrinology, by Labrie F., Proulx L. (Eds.), 662—665, Elsevier Science Publishers B. V., The Netherlands, 1984.

2) 野瀬 清: 培養細胞の増殖. 「微生物学」石本真, 堀内忠郎編, 146—153, 南江堂, 1984.

◆ 原 著

1) Hayakawa Y., Obata K. -I., Itoh N., Yanaihara N., Okamoto H. : Cyclic AMP regulation of pro-vasoactive intestinal polypeptide/PHM-27 synthesis in human neuroblastoma cells. J. Biol. Chem. 259 : 9207—9211, 1984.

2) Yonemura Y., Takashima T., Miwa A.K., Miyazaki I., Yamamoto H., Okamoto, H. : Amelioration of diabetes mellitus in partially depancreatized rats by poly(ADP-ribose) synthetase inhibitors—Evidence of islet B-cell regeneration. Diabetes 33 : 401—404, 1984.

3) Nose K. and Nikaido O. : Transcriptionally active and inactive genes are similarly modified by chemical carcinogens or X-ray in normal human fibroblasts. Biochim. Biophys. Acta 781 : 273—278, 1984.

4) Nose K. : Inhibition by flavonoids of RNA synthesis in permeable WI-38 cells and of transcription by RNA polymerase II. Biochem. pharmacol. 33 : 3823—3827, 1984.

5) 岡本 宏: ホルモン産生細胞とその腫瘍化の